

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2022年1月24日
明治大学の所属学部・研究科	文学部／心理社会学科／臨床心理専攻
留学（渡航）した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年1月21日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	フランス
留学先大学	リールカトリック大学（日本語名） Université Catholique de Lille（現地言語名）
現地使用言語/ 授業使用言語	英語、フランス語/英語
留学期間	2022年8月～2023年1月
留学先大学で在籍した学年	-年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名（日本語）： （現地言語での名称）： <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他：
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他：
学年暦 記入例：1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期：8月下旬～12月中旬 2学期：1月上旬～5月 3学期： 4学期：
学生数	40000（大学のホームページより）
創立年	1875

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	日本円	備考
授業料		円	協定留学のため
宿舍費	2,800	392,000 円	
食費	1,500	213,000 円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	110	15,000 円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	714	100,000 円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	371	52,000 円	形態：明治大学指定の旅行保険
渡航旅費	1,928	270,000 円	
ビザ申請費	157	22,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	7,580	1,062,000 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路	出発地：成田 目的地：パリ 経由地：バンコク
復路	出発地：パリ 目的地：成田 経由地：バンコク
渡航費用	
①	往復チケットを購入した場合 航空会社：タイ国際航空 料金：270,000 円
②	片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：
航空券購入方法	
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店 (店名：HIS) <input type="checkbox"/> インターネット (サイト名：) <input type="checkbox"/> その他 ()	

滞在形態関連

1) 種類 (留学中の滞在先) (例: アパート、大学の宿舎など)

 学生寮 (寮の名前: Valentine Charrondieré) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

 個室 相部屋 (同居人数)

3) 共有部分

 バス トイレ キッチン (自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

大学が斡旋するウェブサイト

5) 感想: (滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

部屋やキッチンでネズミを見ることがあり、不衛生と覚えることもあった。他の寮ではまた様子が違ったそうなので正直実際見なければわからないと思う。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

 なし
 あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

 なし
 あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省からのメールで情報を確認した。財布の盗難にあってしまっただが、クレジットカードを止めたので特に損失はなかった。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮では、たまたま隣の部屋の人がとても親切でwifiを使わせてくれた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。)

銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。

渡航前に外貨両替サービスを利用して、ある程度の現金を持っていったが基本的にクレジットカードで支払いを行っていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本食

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入）

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
22 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由：)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 履修の制限があった：	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
English Talk	英語
科目設置学部・研究科	ISTC
履修期間	一学期間
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	参加多めの講義 （チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	
授業内容	英語で話すこと、英語で主に感情を表現する
試験・課題など	提出物、グループ発表
感想を自由記入	現地の一年生の生徒に混じる形だった。自分を含め留学生三人だったこともあり、最もフランス人の学生の雰囲気を感じられる場所だった。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Understanding French Cinema		フランス映画	
科目設置学部・研究科	ISTC		
履修期間	一学期間		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	チュートリアル（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授			
授業内容	ニューウェーブに関する、もしくは他の同時代のフランス映画を毎週課題として観てそれに関する文章を読み質問に答えるまでが宿題で、授業ではそれについて話し合うことがメインだった。		
試験・課題など	エッセイ		
感想を自由記入	古いフランス映画の雰囲気はなかなか渋くていいなと思って楽しんで観ていたが、授業ではキリスト教の概念やフランスの歴史など色々な知識がないと理解が難しかったりした。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Spécialité intellectual and cultural curiosity		知的文化的異文化理解	
科目設置学部・研究科	ISTC		
履修期間	1学期間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	チュートリアル（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に180分が0.5回		
担当教授			
授業内容	軸として仕事などの場で異なる文化で育った人とコミュニケーションを取ることを前提にどのような準備ができるかということから、話し合いを中心にする授業だった		
試験・課題など	レポート		
感想を自由記入	本や映画などのいわゆる文化的教養について話し合うなど、堅すぎない雰囲気がよかった。授業名の通り興味を持つことの大切さや意味を主に学ぶことができた。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
French as a Foreign Language		フランス語	
科目設置学部・研究科	ISTC		
履修期間	一学期間		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	参加多めの講義（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授			
授業内容	フランス語の授業		
試験・課題など	テスト		
感想を自由記入	もう一つのフランス語の授業に比べて初心者が多く難易度もやさしめだった。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Intercultural Communication (for exchange students)		異文化理解	
科目設置学部・研究科	ISTC		
履修期間	一ヶ月間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	チュートリアル（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に240分が1回		
担当教授			
授業内容	ある一つの国についてグループでプレゼンテーションをするのと、さまざまなコミュニケーションの取り方について共有し合う授業だった。		
試験・課題など	プレゼンテーション		
感想を自由記入	先生が少し遅刻などに厳し目だったが、色々な国からきた留学生ならではの興味深い話、考え方を聞くことができた。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Electif Sport (football)		スポーツ	
科目設置学部・研究科	ISTC		
履修期間	一学期間		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	なし		
授業内容			
試験・課題など			
感想を自由記入	スポーツに一つ参加すれば単位をもらえるとのことだったので参加したが、ストレス発散になってよかった。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
French for international students level A1		フランス語	
科目設置学部・研究科	FLSH		
履修期間	一学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授			
授業内容	動詞の活用、文法の解説、問題		
試験・課題など	テスト		
感想を自由記入	宿題や覚えることがそれなりにあったが、フランス語学習の道筋を示してもらったような感じで意味のある授業だったと思う。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
British Poetry		イギリス詩	
科目設置学部・研究科	FLSH		
履修期間	一学期間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授			
授業内容	詩の解説		
試験・課題など	中間テスト、期末テスト		
感想を自由記入	この授業は少しついていくのに苦労した。詩では馴染みのない単語が使われていたり、神話関連の引用は理解が難しかったりで、テスト前には焦って勉強した。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
British Bestseller since 1945		イギリス文学ベストセラー（1945-）	
科目設置学部・研究科	FLSH		
履修期間	一学期間		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	チュートリアルと講義が交互に行われた（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に60分が2回		
担当教授			
授業内容	作品の一部を読んでくる、授業でそれに関する質問に答える、作品やそのジャンルに関する解説という流れだった。		
試験・課題など	中間テスト、期末テスト		
感想を自由記入	ナルニア、ハリーポッターなど馴染み深いものからそうでないものまで、原文の英語で触れることができいい機会になった。批評文を書かなければならず、TOEFLなどで勉強した WRITING はここで少し活きた。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）:	履修した授業科目名（日本語）:
Survey of British Literature	イギリス文学
科目設置学部・研究科	FLSH
履修期間	一学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	チュートリアルと講義が交互に行われた（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に60分が2回
担当教授	
授業内容	教材に乗っている質問に答えてくる、授業で解説という流れだった。
試験・課題など	中間テスト、期末テスト
感想を自由記入	最古の英文学作品に始まり、トマスモア、ジェイクオースティンなどの作品について勉強することができ楽しかった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください（下記2以降は記入不要）

就職 進学 未定 その他：

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません）
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
（例：留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。）
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	明治大学入学
	8月～9月	
	10月～12月	三回目の予防接種 TOEFL 受験 出願 選考
留学開始年	1月～3月	選考結果
	4月～7月	ビザ申請 ビザ取得 航空券購入 滞在先決定 海外旅行保険加入
	8月～9月	渡航
	10月～12月	中間試験 期末試験
留学/帰国年	1月～3月	帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

自分の英語を試したいという気持ちとまわりの環境を大きく変えてみたいという気持ちがあったため、留学を目指そうと決めました。最初は英語が母国語であることや暮らしやすさなどの観点からアメリカの大学に行くつもりでいたのですが、選考に通らなかったため、余っていたヨーロッパの大学の中からリールを選びました。第二外国語でフランス語をとっていたこと、学生の街として快適だという評判を目にしたことが主な理由です。結果的に、ヨーロッパ間の飛行機代はかなりお手頃な価格で取ることができ、一時間飛行機に乗れば全く違う文化、景色を目にすることができるし、異なる、もしくは複数の言語を話す人々が混じり合っているためとても刺激的な経験をすることができました。

私が留学したリールカトリック大学の良いところは、校舎が美しいこと、留学生が多いこと、周りに必要なものは大体揃っていることです。留学生が多いという点に関していうと、留学生へのサポートが整っていて、イベントを開催してくれたりもします。そして、異文化出身の人と日常を共にすることで気づく、考え方や常識の決定的な違いは面白いです。逆に異文化出身でも似た感性を持つ人にも会うことができ不思議に感じました。

留学を通して学んだことは心に余裕を持つこと、実際に経験することの意味だと今になって思います。渡航前、渡航後どちらも手続き、登録などやらなければいけないことがそれなりにあり、心折れそうになったこともありましたが、現地の交通機関でわからないことがあって困ったりしましたが、今ではそれもいい経験だったと思えます。根気強く、自信を持って物事にあたることができるようになっていくように感じました。また、英語を話すことと理解することの違いや、観光名所などの実際の雰囲気を感じることが貴重でした。異国の文化、情報なども、ネットで調べるとその国の人から聞くのでは全然違って楽しいです。